

こうよう



宮城県気仙沼向洋高等学校



情報海洋科海洋類型 (宮城丸2次航海釣り実習)



産業経済科実習 (校内販売会)



機械技術科実習 (課題研究)



校長 荒木 順 画

本校は、SDGs (持続可能な開発目標) についても学びを進めています。社会に生きる私たち一人一人が、実現に向けて一歩努力することが大切です。

あわせて、新春に各人の目標達成を願いたいものです。2021年は丑年。ゆっくりの歩みでも、力強く着実に重ねれば、必ずたどり着けるはず。

そこで、一首詠んでみます。

初春に 努力を誓う
今年こそ 牛の歩みも 千里に届く



PTA会員の皆様へ

PTA会長 小松恵久夫

梅花の候 気仙沼向洋高校
PTA会員の皆様におかれま
しては、益々ご健勝のことと
お慶び申し上げます。

さて、昨年四月に気仙沼向
洋高校のPTA会長を仰せつ

かり、あつという間の一年で
した。人生で初の会長職、し
かし経験不足でうまく対応で
きないところが多くあり、P
TA会員の皆様にはご迷惑を
おかけしてしまい、心からお

詫び申し上げます。
年度初めの四月より、役員
会並びに委員会と一年間の行
事予定を懸命に考え、意見を
出しあつた事がつい昨日のこ
とのように思い出されます。
残念ながらコロナ禍の中、予
定したスケジュールをなかな
か実行出来ず、残念で悔しい
思いの連続でした。しかし、
規模は縮小でも十月の向洋祭
を開催出来たことは、大きな

喜びでありました。クラブ活
動においても、ヨット部、柔
道部、ハイテク部、等々が優
秀な成績を残せたこと、とて
も感動しました。【ありがと
う】
三年生は卒業を迎えます。
卒業式はコロナに負けず絶対
やります！
就職、進学と各自が進むこれ
からのステージで大いに輝い
て下さい。一年生、二年生は

自分の夢の実現のために多く
を学んでください。これから
の時間も大切に使っていただ
きたいと思います。
私は、次年度は顧問として
一年間頑張りますので、今後
も引き続きどうぞよろしくお
願い申し上げます。本当に有
難う御座いました。



親子の時間

校長 荒木 順

コロナ対応で大変だった一
年。保護者の皆様には、いろ
いろとご心配をおかけしまし
た。そして、無事に嬉しい門
出を迎えます。そうです、今
日は卒業式。卒業生、保護者
の皆様にご心よりお祝い申し上
げます。

さて、高校生活は長い人生
の中のわずか三年間ですが、

お子さんが心身ともに成長し
ていく、とても重要な時期で
す。同時に、親子にとって掛
け替えのない日々です。人の
一生の中で親子がともに過ご
す時間はどれくらいあるので
しょうか。これから親元を巣
立つていくわけですから、考
えてみると、実時間はそんな
にたくさんではないかもしれ

ません。そこで、今の時期の
コミュニケーションを大切に
して大いに楽しんでほしいと
願います。時にはお互いにぶ
つかることもあるでしょうけ
れど、後で振り返れば愛おし
い時間だと思おうのではないで
しょうか。
私が、以前に三年生の担任
をしていたころの話です。進
路のことで意見をぶつけ合っ
た親子(母と娘)がいました。
よく喧嘩になりましたが、お
互いに粘り強く話し合いを続
けていました。ついに気まず

くなったある日の翌日。学校
で娘が弁当の蓋をあけた瞬
間、娘は、あつと驚きました。
好きなおかずがたくさん並ん
でいたのです。お母さんのさ
りげない思いやりと無言の
メッセージを娘は受け取った
のでした。帰宅後、改めて心
を開いて話し合い、親子で納
得できる道をしっかりと見つ
けることができました。この
経験は人生の宝物です。ささ
やかな日常の中に大切な宝物
があるのだと気づかされるエ
ピソードでした。

それにしても、「親子の宝
探し」には、深いコミュニケー
ションの継続が必要なのです
ね。新生活様式を要するポス
ト・コロナの時代も、それは
変わりありません。このよう
な話題についても、PTA会
員の皆様と学び合ってみたい
と思います。そして、本校の
PTA活動が益々発展するこ
とで、お子さんの学校生活が
充実し、人生が豊かになるこ
とを強く願っています

PTA専門部活動報告

1年を振り返って

健全育成・進路対策委員会委員長

藤村めぐみ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定を大幅に変更せざるを得ない状況の中、出来ることを模索しながら活動してまいりました。会員の皆様には、ご理解いただき対応していただきましたことに深く感謝申し上げます。

新校舎が完成してから、恒例行事にしようという力を入れられました『親子奉仕作業』は、天候のため中止となりました。その他、文化祭当日に開催している『登校時一声運動』『PTAブース』『交通安全啓発運動・夜間パトロール』は、感染症対策のため縮小して実施いたしました。

『進路指導研修会』は、研修旅行委員の皆さんに協力していただき、12月12日(土)に開催されました。

『みやぎ高校PTAフェスティバル2020』は、10月6日(火) 太白区文化センターで、『県北支部指導者研修会』は、11月12日(木) 本吉町はま

1年を振り返って

研修旅行委員会委員長

村上 真人

研修旅行委員長を務めさせていただいた、副会長の村上です。本年度の研修旅行委員会の活動報告をさせていただきます。

本来ならば、PTAの皆さんとお疲れ様の意味もかねての研修旅行を企画、運営する予定でしたが、コロナウイルスの影響もあり、本年度は中止せざるを得ないということで、早々に研修旅行委員会としての仕事を失ってしまいました。

PTAのお仕事として、何か出来ないかと考えていたところ、進路指導研修会の運営のお話を頂きました。進路指導研修会と聞いても、私も初めての参加運営ということで、先生方やPTA諸先輩方のお力をお借りし、12月12日(土)に開催することが出来ました。保護者様、生徒の皆さんに参加頂き、これからの将来の進学、就職にあたり、先輩方に講話を頂きました。初めに、株式会社モリヤ代表取締役の守屋守昭様に講話を頂きました。起業するきっかけ、苦労したお話、震災を乗り越えられた心の支え、これから巣立って

くための気持ちの持ち方など、とても心に響くお話を頂きました。

次に、卒業生数名から卒業までの準備、心構えなど、お話を頂きました。卒業して間もない皆さんが、立派に社会人として頑張っている姿を、たくましく感じました。

進路講話研修会ということで、学校の方からも今後の準備等、資料を交えて説明頂きました。

本年は、コロナ禍ということで研修旅行の企画・開催は出来ませんでした。その代わりに進路講話研修会の運営というやりがいのあることが出来たと思います。





「荒波を乗り越えて……」

三学年主任 岩村 圭祐

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、これまで本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。生徒一人一人が学校で生き生きと輝いて生活できたのも、毎朝快く送り出し、夜も遅くまで帰りを待つて温かいご飯を食べさせるなど、最も身近な場所ですべて下さったからに他なりません。

入学直後の仮設校舎での生活からスタートし、数ヶ月経って高校生活に慣れるかどうかのタイミングでの新校舎への引っ越し。二年生になった年には年度が平成から令和に変わり、一大イベントである修学旅行を終え、いよいよ本格的に進路と向き合う三年生としての時期を迎えようとした矢先でのコロナウイルス騒動。六月に再開した学校生活は、進路に向けて例年よりも

更に慌ただしい日々。就職では事前の会社見学ができなかったり、リモートでの説明会になったりする企業もありました。進学では入試のシステムが大きく変わり、膨大な出願書類の準備に追われたり、過去と出題パターンが変わって対策に苦慮したりする大学もありました。

皆さんがこれまで歩んできた高校生活は、学校としても社会としても激動の三年間でしたが、その荒波に揉まれながらも卒業の時を迎えることができ、本当に嬉しく思います。卒業後、それぞれ道で活躍することを、心から楽しみにしております。近況報告でもお悩み相談でも愚痴でも構いませんので、またいつでも顔を見せに来て下さい。

さらば友よ
またこの場所で会おう
さくら舞い散る道の上で



「ものの考え方」

情報海洋科担任 阿部 健太郎

卒業生ならびに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、これまで本校の教育に多大なるご理解とご協力、そしてご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、堅苦しい挨拶は以上にして、ここからは私らしく物を語ろうと思う。月並みな事柄を嫌う私なので、この場でも奇を衒うようなことを書いてくが、最後まで読んでみてほしい。

この世の中、ストレスが原因なのか、素より人間が浅ましい性質なのかは知らないが、何かにつけて「炎上」する事が多くなってきたように思える。「炎上」などと言ってはいるが、少なくとも半分以上は「非難」である。私は考える。「非難」と「批判」は混同して使われる場合が多いが、そもそも「批判」とは良い悪しを見つけ出して評価する事を言い、「批判」それ自体は何も問題ない。そのなかで「悪し」だけに焦点を当て、重箱の隅をつつくように執拗に咎めることを「非難」と言い、複数の人による「非難」を「炎上」と言うのではないだろうか。

さて先日、SNS上で「炎上なんて一部の人間が勝手にキレ

散らかしているだけ」といった投稿を見て、私は何となく納得してしまった。結局のところ、「炎上」なんてものは、その辺の誰かが自分の意見と合わない意見を持つ者に対して、敵意を持って騒いでいるに他ならない。「炎上」なんて言葉があるからこそ、批判と非難の違いが混同し、またはそこに悪意が生まれ、相手を咎めてしまうのではないだろうか。そして、その悪意を受け取ってしまった一部の人が、悩み、傷を負い、あるいは自分で命を絶ってしまうのではないだろうか。

前置きが長くなったが、世の中に出れば「批判」されること、あるいは最悪「炎上」することが多々出てくる。その一つ一つを真摯に受け止め、自らを改めようとする心は大切だ。しかし、その全てを真に受けていては、正直疲れるし、傷つきやすくなる。生徒諸君らには、「炎上」や「非難」ではなく、「批判」を「アドバイス」として享受し、自分の力に変えていく力を身に付けてほしい。そして、正しく人を「批判」し、「肯定」できる人間になってほしい。それが私の、生徒諸君らへの最後の願いである。



「卒業ありがとう」

～仕合わせな繋がり～

産業経済科担任 安倍 優文

25期生の皆さん、保護者の皆様方、ご卒業おめでとうござい
ます。

13年前の4月1日、「いつか、
教員採用試験に合格して宮城県
に帰ってきたい。」という『夢』
を持って、私は千葉県の教員に
なりました。翌々年、日本は未
曽有の大震災に遭いました。そ
れでも、震災復興に向けて幾多
の試練を一つ一つ乗り越える最
中・・・、5年前の10月29日、
私は『夢』が叶いました。

皆さんは、私にとつて宮城県
の教員人生、担任として最初の
卒業生です。

九条校舎、階上校舎での高校
生活、野外活動、体育祭、向洋
祭、修学旅行、検定補習、クラ
スレク、進路室や保健室での時
間・・・、一人一人、どれをとつ
ても、皆さんと共に過ごした3
年間のどの時間も、私には仕合
わせで、とてもかけがえのない
財産です。

だからこそ、本校を卒業する
25期生の皆さんには「卒業おめ
でどう」ではなく、「卒業ありが
どう」という感謝の言葉を贈り
ます。

だからね、皆さんには『夢の
続き』として最後の課題を出し
て、繋がり続けさせてください。
それは、いつか、「応援される
人」から人の活躍する「尊敬さ
れる人」へと立派に成長した皆
さんと再会することです。その
日を楽しみに、私は、この仕事
に精進し、これからもたくさん
の巡りべく生徒との出会いを重
ね合わせながら、『夢』を追い続
けます。

それでは、また、いつかどこ
かで再会しても、お互い笑顔で
再会しましょう。これからの人
生も、自分を決めつけずに『夢』
や「希望」を持って、一生懸命、
生き続けてください。

引用・杉浦誠司(メッセー字)



「会者定離」

機械技術科担任 笹原 健

卒業生のみなさん、保護者の
みなさん、ご卒業おめでとうご
ざいます。保護者の皆様におか
れましては本校教育活動へのご
理解とご協力をいただきました
こと、厚く御礼申し上げます。

卒業生のみなさん、3年間の
高校生活を振り返ってみて、ど
うでしたか。入学当時にイメー
ジできた3年間でしたか？イ
メージどおりに成長できていた
ら幸いです。皆さんはこの3年
間、各々の家庭や周囲の皆さん
に支えられてきました。まず、
これまで支えてくださった方に
お礼をしましょう。私は機械技
術科の担任として仕事をするう
えで、多くの方に関わり、ご支
援や激励のお言葉をいただきま
した。今度は皆さんの順番です。
周囲の人を支えられる、激励で
きる大人になってください。も
し、困ったことがあれば、この
3年間を過ごした仲間を頼って
みてください。仲間との絆こそ

が、皆さんの財産です。

さて、4月からは新生活が始
まります。多岐にわたる進路の
中から選択した自身の将来を大
切にしてください。会者定離と
は会うものはすべて離れる定め
にあるという意味です。新生活
の中で新しい出会いもあれば別
れも出てくることでしょう。そ
の出会いと別れの一つ一つを大
切にできる大人に成長してい
くことを期待します。
2年間ありがとうございました。



卒業生進路先一覧

卒業生・専攻科修了生

進路決定状況

(二月十五日現在)

〈就職内定先一覧〉

情報海洋科

海洋類型

日本貨物鉄道株式会社東北支社／山崎建設株式会社東北支店／気仙沼漁業協同組合／深田サルベージ建設株式会社／株式会社カネシメイチ／東日本船舶株式会社／株式会社宗邦エントナープライズ／西濃運輸株式会社仙台支店／太平洋フェリーサービス株式会社

情報電子類型

日通商事株式会社ロジステイクス・サポート事業部／東光送電工事株式会社／株式会社サカイ引越センター／株式会社協和エクシオ／陸上自衛隊自衛官候補生／株式会社エヌ・ティー・ティーエムイーNTTME／日本電気株式会社／社会福祉法人恵心会

産業経済科

株式会社小野万／株式会社東北フジパン仙台工場／アイリスオーヤマ株式会社／株式会社日産サテイト宮城／仙台トヨペット株式会社／金野設備／宗教法人志波彦神社鹽竈神社／株式会社齊吉商店／宮城県職員(水産)／気仙沼信用金庫／株式会社ユニベールソーイング仙台工場／株式会社みらい造船木戸浦工場／株式会社ツルハドラック／株式会社マルヤマ／東光石油株式会社／株式会社ヤマサカ

東洋冷蔵株式会社東北支店

機械技術科

株式会社小森コーポレーション／株式会社新和エンジンサービス／日野自動車株式会社／北斗株式会社／陸上自衛隊一般曹候補生／キヤノン電子株式会社／株式会社藤田鉄工所／株式会社おやま製作所気仙沼工場／リック株式会社／リコーインダストリー株式会社／株式会社新和機械／キヤノン電子株式会社秩父事業所／K Style／トヨタ自動車東日本株式会社／本田技研工業株式会社／東京理科大学株式会社宮城工場／株式会社SUBARU群馬製作所

専攻科漁業科

有限会社正豊海運／東日本船舶株式会社／幸洋汽船株式会社

専攻科無線科

古野電気株式会社／空港情報通信株式会社

〈進学先一覧〉

情報海洋科

海洋類型

宮古海上技術短期大学校／仙台スイーツ&カフェ専門学校／東北ヘアモード学院／本校専攻科漁業科／修紅短期大学／専門学校東北動物看護学院／仙台ヘアメイク専門学校

情報電子類型

日本電子専門学校／山形大学／東北保健医療専門学校／東京IT会計専門学校仙台校／仙台デザイン&テクノロジー専門学校／晃陽看護栄養専門学校／本校専攻科無線科／専門学校デジタルアーツ仙台／富士大学／東北職業

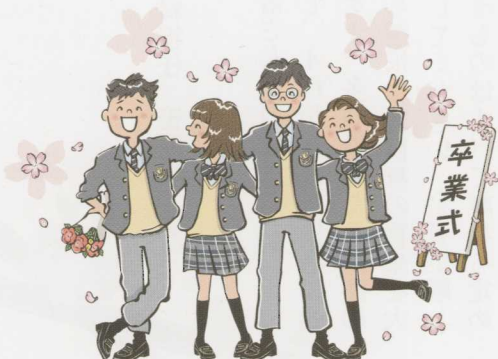
能力開発大学校

産業経済科

気仙沼リアス調理専門学校／仙台こども専門学校／アミューズメントメディア学院／仙台青葉学院短期大学／総合学園ヒューマンアカデミー／仙台大学／東北福祉大学／東京IT会計専門学校仙台校／石巻専修大学／宮城県高等歯科衛生士学院／聖和学園短期大学／仙台デザイン専門学校／東京スクール・オブビジネス専門学校／東北生活文化大学短期大学部／気仙沼市立病院付属看護専門学校／東北保健医療専門学校／専門学校東北動物看護学院／岩手大学

機械技術科

宮城県立気仙沼高等技術専門校／東北学院大学／東北職業能力開発大学校／仙台医療・スポーツ専門学校／東北工業大学／仙台工科専門学校／東北電子専門学校



防災学習の取り組み

防災学習に力を入れて
取り組んでいます



KSC 向洋語り部クラブ
Koyo Storyteller Club

生徒による語り部活動に取り組んでいます

昨年度より生徒から「先輩達の避難行動や震災の経験を語り継ぐ活動をしたい」という声があり、生徒による有志の語り部団体が発足しました。団体名は「KSC～Koyo Storyteller Club～（向洋語り部クラブ）」です。そして、7月より先輩達が学んだ旧校舎である伝承館と連携した語り部（館内ガイド）活動をスタートさせ、震災を語り継ぐ活動をしています。

現在34名（年生9名 2年生9名 3年生16名）の生徒が参加しています。伝承館と連携し、語り部の依頼等があった場合、イベント、語り部の練習会、月命日語り部活動等に参加しています。同じ語り部活動を行う階上中とも協働して語り部活動を行っています。一般のお客様に加え、奈良学園中学校、香川県立高松北高校など同年代の生徒へも語り部を行いました。また、その取組が評価され、多くのマスコミにも紹介されています。



語り部活動の様子



語り部活動の様子

地域防災リーダー育成のための視察

地域の防災リーダーを育成します

「地域防災リーダー育成のための視察」は、広島・兵庫・岡山の防災学習施設・高校等を視察・訪問・交流することで、学校や地域防災のリーダーとなる生徒、学校の様々な場面で活躍する生徒を育てることをねらいとしています。

今年度は12月にコロナ感染症のため、例年行っている泊を伴ったの県外視察ではなく、大型バスによる日帰りの岩手県の震災遺構施設の見学、語り部聴講を行い、防災意識・知識の向上に役立てることをねらいとして実施しました。

参加生徒はKSCの生徒など1～3年生の19名です。岩手県釜石市のうのすまい・トモス「いのちをつなぐ未来館」「釜石祈りのパーク」でのガイドと語り部聴講、大船渡市の「ど根性ポプラ広場」の見学、陸前高田市の「東日本大震災津波伝承館」のガイド、「高田松原津波復興祈念公園」の散策などを行いました。生徒はそれぞれ様々な学びと気付きがありました。視察の様子は様々なマスコミにも紹介されました。今後、視察内容について3月に全校生徒に報告し、HPにも公開する予定です。



語り部聴講の様子



津浪伝承館ガイドの様子

防災学習・防災訓練

意識を高める実践的な訓練に取り組んでいます

今年度はコロナ感染症対策を行い、生徒の意見なども生かしながら、様々な防災学習や防災訓練に取り組みました。今年6月の第1回総合防災訓練では「授業・実習中に発生」を想定し、行方不明生徒が複数名出るなど、より実践的な地震津波避難訓練を行いました。10月地震津波避難訓練では3次避難場所である階上中までの全校避難訓練を行い、避難経路を確認しました。11月には地域連携として階上地区総合防災訓練に参加し、第2回総合防災訓練「火災避難訓練」では、煙避難訓練と初期消火訓練を行いました。12～1月には学年ごとに避難所設営運営訓練も行いました（2学年は悪天候のため中止）。訓練だけでなく、「登下校中の津波避難」「火災予防について」「高校生ができる避難所設営運営」などの防災学習にも取り組みました。



煙避難訓練

ぼうさい甲子園2020 「はばたん賞」受賞

兵庫県、毎日新聞社、（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構（人と防災未来センター）が主催する1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」において、本校の防災学習やVFCなどの防災の取組、地域防災リーダーの視察やKSCの語り部活動などが評価されて、特別賞である「はばたん賞」を受賞することができました。

賞状と「はばたん」



特別奨励状授与

令和二年十月吉日付で、文部科学大臣・萩生田光一様より、特別奨励状をいただきました。



第二七回宮城県高等学校写真展にて、写真部（産業経済科一年）・菅野舞織さんの作品が入選しました。



タイトル：花 火

第29回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会

12月14日（月）～15日（火）の2日間、静岡県立焼津水産高等学校を会場に、第29回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会が開催されました。東北第一代表校として、産業経済科3年・渡邊夕佳さん、遠藤朱楽さんの2名が参加して来ました。本校にとっては、全国大会初出場の快挙です。「ホヤ殻の有効活用 ～紙をツクル・未来をツクル」と題した研究発表は、奨励賞を受賞しました。

編集後記

カメラを構えると、フレーム越しにはいつも、元気な海洋生の姿、あたたかい先生方の笑顔が見られます。「こうよう」はそんな向洋高をありのままに伝えてきました。今年度2回目のPTA会報「こうようNo.39」では、卒業に関する特集記事など様々な情報を盛り込みました。取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

調査広報委員

PTA調査広報委員会

委員長

吉越 稔（条 南）

委員

吉田 正（条 南）

伊藤由美子（唐 桑）

阿部 裕美（松 岩）

斎藤 大悟（気仙沼）

星 蘭子（唐 桑）

熊谷 由美（唐 桑）

鈴木まち子（気仙沼）

熊谷さゆり（新 月）

村田 祐子（本 吉）

久保恵美子（気仙沼）

村上みつえ（大 島）

村上 一洋（鹿 折）

事務局

小野寺 隆平